

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点		都道府県・政令市 等の意見
1	此田地区直轄地 すべり対策事業	長野県飯田市南 信濃八重河内此 田	昭和63年度～ 令和9年度	102 104	・飯田市南信濃地区の人口 および世帯数についてはゆる やかな漸減傾向を示してい る。	全ブロック(Aブロック、Bブロッ ク、Cブロック)において、令和 6年度までに現在計画してい る対策工の施工が完了。	令和7～令和8年度に対策 工効果評価を行い、令和9 年度に長野県への引き渡し を目指している。	・従来使用されてきた塩ビ 管を恒久集排水ボーリング 保孔管にすることで、材料 の耐用年数が向上、ライフ サイクルコストを削減してい る。 ・設計段階からCIMの導入 を積極的に進めており、設 計から施工、将来の管理に おいて、3次元データで一体 的に管理することにより、コ スト削減に努めている。	【事業全体】 総便益B:291.6億円 総費用C:222.2億円 B／C=1.3 【事業全体】 総便益B:424.0億円 総費用C:287.2億円 B／C=1.5	【残事業】 総便益B:10.5億円 総費用C:7.4億円 B／C=1.4 【残事業】 総便益B:2.5億円 総費用C:1.3億円 B／C=1.8	継続
									・費用便益分析マニュアル改訂に伴い主に直 接被害軽減効果と人命保護効果が変更 ・物価上昇による建設資材単価及び労務単価 の増加 ・建設費算出における工事諸費取り扱いの減 額		